

平成19年11月29日

名古屋市議会議長 様

陳情団体 NPO名古屋市腎友会

事務局

住所 名古屋市熱田区2番2-18-24
今津ビル201号

電話 052-653-6480

会長 小森 敏旦

ハート・プラスマークの駐車場を要望する陳情書

<陳情事項>

1. 「ハート・プラスマーク」を公共の車いす駐車スペースに表示または
掲示していただきたい。
2. 「ハート・プラスマーク」(内部障害者・内部疾患患者)の駐車場を
市役所、区役所、支所に設けていただきたい。

このマークは、『ハート・プラス』という名前です。

このマークは、「身体内部に障害を持つ人」を表現しています。

内部障害者は、身体の中に障害を持っていますので、外から見るだけでは、病気を持っていることが分かりにくいのです。

現在使われている障害者のマークとしては「車いすをモデルにしたマーク」が一般的ですが、私たち内部障害者がこのマークを利用する時に、時々不便なことがあります。

例えば、スーパーなどの駐車場で、車いすマークの駐車スペースに駐車したとします。車から降りてきた私たちを見て、周りの人が怪訝な顔をします。「この人は普通の人なのに、障害者の所に停めている」と。おわかりでしょうか？

障害者とは、車いすを利用している人だけではありません。もちろん、障害者手帳を持っている人だけでもありません。何らかの障害を持っているすべての人のことです。特に、内部障害者は外見からは分かりにくいので、様々な誤解を受けることがあります。障害者には、「身体内部に障害を持つ人」も含まれていることを覚えておいて欲しいのです。



「ハート・プラス」の意味

身体内部を意味する「ハート」マークに、思いやりの心を「プラス」。身体に病を持つ人、その周りの人も心に思いやりの気持ちをプラスしましょう。そんなすべての人の「思いやりを増やす」マークが「ハート・プラス」マークです。